

令和元年8月2日
資料提供
株式会社南紀白浜エアポート
0739-43-0095

令和元年8月2日
資料提供
担当課 港湾空港振興課
担当者 振興企画班 細川
電話 073-441-3154

## 南紀白浜－羽田線

「機材大型化または4往復化による供給座席数の増加」について  
日本航空（株）に要望書を提出しました。

南紀白浜空港は、平成30年度において開港以来過去最高の16万1,570人の搭乗者数と平均搭乗率78.3%を記録しました。

背景には、本県への堅調な観光需要に加え、近年のIT企業の進出、近畿自動車道の全線事業化や小型ロケット発射場建設決定など、大規模プロジェクトが活性化し、ビジネス需要が急増したことが挙げられます。

そのため、南紀白浜羽田線は、羽田行き最終便を中心に座席の確保が困難となる状況が頻発しており、今後もこの状況が継続するものと考えられます。

そこで、このたび、和歌山県、南紀白浜空港周辺の6つの自治体、（株）南紀白浜エアポートは、連名で日本航空（株）に対し、南紀白浜空港羽田線の「機材大型化または4往復化による供給座席数の増加」に関する要望書を、令和元年8月2日に提出しました。

なお、本年4月より南紀白浜空港の運営を開始した（株）南紀白浜エアポートと地域が一体となり、空港の利便性向上に向けた取り組みを推進中であり、要望の一方で、より一層の利用促進活動にも取り組む予定です。

### <要望書提出の概要>

要望日 令和元年8月2日

要望先 日本航空株式会社 赤坂 祐二 代表取締役社長執行役員

要望者 和歌山県知事 仁坂 吉伸  
田辺市長 真砂 充敏  
白浜町長 井潤 誠  
上富田町長 奥田 誠  
みなべ町長 小谷 芳正  
串本町長 田嶋 勝正  
すさみ町長 岩田 勉  
株式会社南紀白浜エアポート  
代表取締役社長 岡田 信一郎



場所 日本航空株式会社

※要望の詳細については、裏面を参照願います。

### <お問い合わせ先>

○要望書の提出に関すること

港湾振興課

振興企画班 担当：細川、吉田

電話 073-441-3154

○空港運営に関すること

株式会社南紀白浜エアポート

広報・マーケティング担当

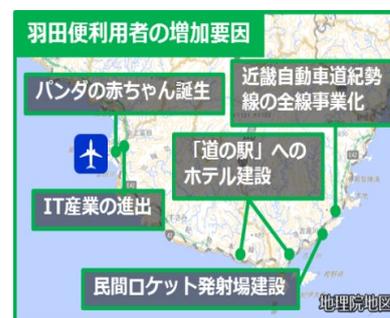
電話 0739-43-0095

## 南紀白浜空港 羽田便の状況と課題

### 1. 高まる南紀白浜空港の需要

南紀白浜空港は、世界遺産の熊野古道や白浜温泉、アドベンチャーワールドのパンダを始め優れた観光資源を背景とした観光客主体の空港として発展。

これに加え、近年の IT 企業の進出、更に本年 3 月の近畿自動車道の全線事業化や小型ロケットの発射場建設の決定など大規模プロジェクトが活発化し、ビジネス需要が急増。



### 2. 南紀白浜空港の利便性を向上させる取り組み

本年 4 月、空港の運営を開始した株式会社南紀白浜エアポートと地域が一体となって、南紀白浜空港の利便性向上に向けた取り組みを推進中。

- ・バ ス：空港から紀南地方の観光地(串本・勝浦・新宮)へのルート(2019.4より)、さらに東京・大阪・京都への高速バス(2019.4より)を開設
- ・自 転 車：サイクリストに対応した環境整備(2018.12より)、電動アシスト自転車レンタル実施(準備中)
- ・レンタカー：空港内のサービス提供事業者の増加(2019.8より)
- ・ヘ リ：関西圏広域移動サービスの提供(2019.1より)

最適な移動ルート案内や接続性の課題解決を通じた利用者の利便性向上のため、南紀白浜エアポート・明光バス・JR 西日本和歌山支社が包括連携協定を締結(2019.5)。

### 3. 現状・課題

- ・2018 年度、羽田便利用者が 16 万人を突破し、過去最高を記録
- ・2018 年度、平均搭乗率は 78.3%であり、羽田行最終便を中心に座席の確保が困難な状況が頻発。



白浜空港利用の機会損失が発生

### 4. 提案

機材大型化または 4 往復化による供給座席数の増加

#### 機材大型化の例

エンブラエル 190 (95 席) から  
ボーイング 737-800 (165 席) に使用機材を  
変更した場合、供給座席数が 73% 増加



※ 地元(県・市・町)としても、日本航空とともに東京からの誘客キャンペーンや住民・地元事業所等への割引運賃の周知徹底で、利用者の底上げに取り組む。